



JA種子屋久 日本農業新聞

日本農業新聞に掲載された当JAの記事を一部

種子島安納いも

4月15日

頑張れ！新1年生

文房具今年も JA種子屋久

JA種子屋久は3月下旬、1市3町の小学校新1年生約350人に入学期祝い用の文房具セットを贈った。地域活性化の取り組みとして毎年行っている。

鮫島組組合長が、西之表市教育委員会を訪問し、佐藤正教育長へ目録を手渡した。

佐藤教育長は「毎年、児童のために寄贈していただき感謝している」と話した。(種子屋久)



5月6日



(右から) 松田事務局長、田中会長、鮫島組長、小山管理経済常務

GI登録JAへ報告

推進本部などブランド力向上期待

和牛振興に貢献 中川さんへ感謝状

鹿児島・西之表市 和牛振興会

【鹿児島・種子屋久】種子島の西之表市和牛振興会は12月下旬、12月のせり市で畜産農家を引退した中川恭子さん(82)に、和牛振興への貢献に対して感謝状を贈った。

授与式は「思い入れのある場所」で、中川さんの親牛のいる牛舎で開いた。同振興会や行政、JAが出席した。

同振興会の沖田善一



感謝状を授与された中川さん

会長が感謝状を授与。中川さんは「家族や近所の農家と集まり、牛のことを話すのが楽しかった。畜産農家を続けてきて本当によかった」と涙した。

中川さんは、約40年以上になる子牛生産農家で、多い時には7頭

2月25日

屋久島産ピーク

JA種子屋久 県外からも人気

【鹿児島・種子屋久】JA種子屋久では、2021年度産タンカンの出荷がピークを迎えている。屋久島地区の「屋久島たんかん」は07年にかごしまブランドに指定され、県外からの注文も多く、人気を集めている。

21年度産は、台風などの気象災害もなく、生育は良好で出荷も安定。JA管内では61畝を栽培し、うち50畝は屋久島産だ。2月上旬から収穫が始まり、3月上旬までに約540tを見込む。

屋久島地区の安房産果所では、生産者がタンカンを持ち込み、連日、作業に追われている。選果されたタンカンは、鹿児島くみあい食品やJA直売所のほんたんのギフト、地元のアコープなどで販売される。



タンカンを収穫する生産者

1月12日



一番茶を収穫する生産者

4月3日

日本一早い新茶収穫

鹿児島JA 今期は39トン計画



手作業で箱詰めされるスナップエンドウ

スナップエンドウ出荷最盛 種子島中央高生が活躍

農業新聞代金は、農

☆農業新聞の購読は1ヵ月2,623円(税込)

